

和合

No.124

2018.8.20

題字：三浦修次

主な掲載記事

和合探訪	2
はやぐおっきぐなれの～！	3
よつぱっこ通信	4
6年生のみんなが願う和合の里	5
畑にこんにちは！	6
季節の郷土料理	6
こんにちは 保健師です	7
わどう駐在所	7
和合の里INFORMATION	8



◆参考資料
『余目町史』 余目町 発行
『十六合史』
十六合地区総合振興協議会 発行

村の起こり

◆村の創基

現在の吉方は、吉方村と境興屋村が合わさりひとつの部落となっています。一体いつ頃ひとつの部落になったのか探してみましたが、残念ながら定かではありません。

それでは、それぞれの開村についてみていきましょう。

【吉方村】

開村は元和9年（1623年）と言われています。某藩の浪士である渡部万右衛門という人物が来て、1本の桜の木が目立つ小高い地を選んで住みつくと、まもなく上野兵右衛門という人物も来て居住し、2人が協力して新田開発にあたりました。当時は、見渡すかぎり芦原※だったので、初めは芦方村と名づけられましたが、後に吉方村と改められました。

※芦原…ヨシが群生している場所

開村当時の村高は350石4斗5升6合（約53,000kg=約883俵）でしたが、それから間もなくの寛永19年（1642年）の水帳では約782石まで伸びています。十六合史によると、これは開村当時、土地の開墾と共に吉方堰の開削や、京田川流域原野開発が残されており、酒井藩では年貢免除の措置がとられ、その後全力で耕地造成に取り組み、僅かの期間に急速の開発がなされたためだろうという記載がありました。

余目町史には、郷士力士として御所車常吉の名があります。詳細は不明ですが、吉方村生まれで、春日山の門人だったようです。

【境興屋村】

隣接する吉方村より20年ほど後になる寛永年間（1624～1645年）に開村され、最初は五輪台村と称されました。村高は創基して間もない承応4年（1655年）の記録によると、89石1斗5升（約3,400Kg=223俵）でした。村が小さいこともあってか、その後は僅かな畑返しがあるのみでほとんど村高は変わらなかったようです。



八幡神社

吉方村の新田開発のさなか、無数の鳥が飛来し、何ごとかを告げようとする気配があるので、注意深く開拓していったところ、神社地西方の土中から八幡大神が現れたという言い伝えがあります。この社の見所は絢爛たる彫刻で、当時名人といわれた佐次兵衛（八色木）と此治（余目）の二人が技を競い合っただけという言い伝えがある彫り物だけに、彫り方は実に写実的で見れば見るほど面白さがあります。

著名人 PICK UP!

- 昭和6年 県立庄内農学校を卒業すると農業に従事。
- 昭和24年 十六合耕地整理組合長として地元の耕地整理事業で実績を上げる。
- 昭和26年 十六合村議会議員に当選すると同時に議長に就任。
町村合併後の旧余目町議会でも議長として力量を発揮。
- 昭和30年 最上川土地改良区初代理事長に就任。
- 昭和34年 県議会議員に初当選すると以後5期連続当選し、
その間、各種審議会委員等として県政各般にわたって活躍。
- 昭和42年 山形県土地改良事業団体連合会理事長に就任。
- 昭和44年 全国都道府県議会議長会及び山形県知事から永年勤続議員として
表彰を受ける。（49年にも同じく表彰を受ける）
- 昭和52年 藍綬褒章（地方自治功労）を受章。



渡部 利右エ門
幼名「好喜」
（大正2年12月12日～
平成15年3月22日）



パパとママにインタビュー

はやくおっきくなれの～!



Q1 名前の由来は？ Q2 今一番の興味やハマっていることは？
Q3 最近記憶に残ったエピソードは？ Q4 パパママの失敗談（子育てあるある）
Q5 パパママからのメッセージ



富樫 ^{かりん}来倫ちゃん（前田野目）

平成29年9月14日生まれ

^{たかし}パパ：崇 ^{ちほ}ママ：千穂



- 1 まじめで思いやりがあり、人から信頼され良い仲間に囲まれて幸せな人生を願う「倫」の字に、未来の「来」の字を合わせ響きの良い「かりん」にしました。
- 2 身振り手振りを真似することです。「バイバイ」の声を聞くと手を振り、「イヤイヤ」と言うときにこにこ顔で頭を横に振ります。
- 3 6月に胃腸炎にかかってしまい1週間も発熱や嘔吐、鼻水がひどく、日中は祖母がつきっきりで看病してくれました。体重も増えず心配になりました。
- 4 3人の子の名前が最初に「来」の字があるために、書類に名を書くときに間違えそうになったり、呼ぼうとしたときに違う子の名前を呼んでしまうことがあります。
- 5 元気いっぱい、声も大きい女の子です。自分らしく芯の通った子に育って欲しいな。いつも笑顔で楽しく過ごせるように家族みんなで仲良くしていこうね。



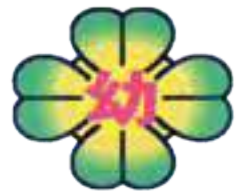
森居 ^{かほ}奏帆ちゃん（沢新田）

平成29年8月28日生まれ

^{ひろたか}パパ：浩隆 ^{みか}ママ：美佳

- 1 優しく周囲の人を和ませてくれる存在になってほしい。また、夢という帆を大きく広げ進んで行ってほしいという意味を込めて。
- 2 スタスタと歩くことができるようになり、お姉ちゃんの後ろを追いかけたり、すべり台やブランコに1人でのぼったりして楽しんでいます。
- 3 階段を上ることが楽しく、ちょっと目を離した隙に階段の中腹まで…。焦って後ろから追いかけていきましたが、上った本人は満足気でした。
- 4 プール遊びの後、バスタオルで拭き、いざオムツをはこうとしたら玄関でおしっこが。本人は出てスッキリした表情をしていました。
- 5 いつまでもお姉ちゃんと仲よし姉妹でいてね。そしてこれからもいっぱい食べて、いっぱい遊んで大きくな～れ♪





✿ザリガニ釣り面白い!!

年長組がこの夏夢中になったお話があります。それは 絵本『ザリガニの王様まっかちん』ザリガニ釣りのお話です。



「やってみたいね」「ザリガニどこいるかな？」と子ども達。地域の人から、堰の深い水溜りのところにいることや仕掛けの方法を聞き、子ども達とまずはザリガニしめに出かけました！

何度か通い、20匹以上のザリガニを捕まえました。そして、大きなタライにせりの葉と一緒に

に放し、念願のザリガニ釣りのスタート！釣竿は園庭で拾った木の枝にタコ糸をつけて、えさは絵本に載っていた、煮干やスルメです。

「絵本に、1, 2, 3って待つって書いてあったよ」「あ～食べてる！もういいかな？」「もっと待たないと逃げちゃうよ」「とてもわくわくした表情の子ども達でした。

釣りをしながら「スルメの匂いで気づくんじゃない？」「口って下のほうについてるんだね」等、ザリガニの観察も楽しんでいました。



見事釣り上げると、みんなからの憧れのまなざし。1週間ほど楽しませてもらい、堰に帰してきました。

また、生き物が大好きになった子ども達です。



余目第四小学校6年生の みんなが願う 和合の里



高橋 ^{ひなた}陽大
【前田野目】

ぼくは、あいさつとろう下歩こうをもっと良くして
いきたいです。

理由は、あいさつは四小の自まんだけど、声が出て
いない人がいるからです。ろう下を走る人が多いの
でそこも直したいです。



押切 ^{ほづき}葉希
【廻館】

みんなが明るく元気で、笑顔がたくさんふえて
ほしいです。

自然が豊かだと、みんなが笑顔になります。笑
顔になる和合の里になってほしいと思います。



高橋 ゆい
【連枝】

地いきの人から子どもまで、みんなが笑顔でい
れて、子どもたちは、みんなのために「あいさつ
やボランティア」をいつでもできるような和合の
里になってほしいです。

ずっと、緑の絶えない和合の里にしていきたい
です。



齋藤 ^{おとほ}乙葉
【南興屋】

私は、笑顔あふれる和合の里になってほしいです。
なぜなら、人は笑顔ひとつあれば何でもできると思っ
たからです。

例えば、笑えば人と仲良くなれます。仲良くなれば
友達になります。友達になれば、やがて大人になった
時、たよりになります。そういうことから私は、笑顔
があふれるといいなと思います。



畑にこんにちは!

荒木 一博さん

(赤渕新田)

今回お邪魔したのは、毎年「和合の里秋まつり」のじゃんけん大会で“里のもの(野菜)”を提供して下さっている荒木一博さんの畑です。

荒木さんは現在「まごころなっばの会」の代表をされており、学校給食に提供しているじゃがいも、ねぎ、大根、キャベツをはじめ、家庭用の野菜を含め25品目ほど栽培しているそうです。この日、ネギ畑に



案内していただくと、そこには青々とした立派なネギがきれいに並んでいました。

畑の楽しみは何ですか?と尋ねると、ご近所さんとの“野菜外交”かな」という答えがありました。荒木さんの野菜外交のモットーは初物、旬なものをご近所さんにおすそわけすることだそうです。そのモットーのおかげで、旬なものを早く栽培するにはどうしたらいいかなど栽培方法の勉強にもなっていると話してくれました。

畑に取材に行くと草取りが本当に大変と皆が口を揃えておっしゃるので、荒木さんにも草取り大変じゃないですか?と話を振ると、確かに草取りはしないといけなけれど、定植したら除草剤をふると1ヶ月くらい草が生えないし、奥さんと手分けして朝仕事(草取り)するとそんなに大変だとは思えないとおっしゃっていました。

他にも興味深い話を聞くことができましたが、残念ながら紙面の関係で割愛させていただきました。そんな荒木さんに最後の質問として野菜作りの極意を尋ねると「畑に長時間いないこと。いても3~4時間。(良い意味での手抜きが大事)」とのことでした。



季節の郷土料理



赤飯

◆材料

もち米……1升
小豆………1合(もち米の1割)

◆下準備

- 1 小豆は洗ってたっぷりの水でゆで、煮立ったら水を捨て、小豆の4倍の水を加えて10分煮、冷めるまでそのままにしておく。
- 2 もち米は洗って水を切り、小豆のゆで汁に水を加えた中に一晩つける。

◆作り方

- 1 蒸す30分前にもち米の水を切り、小豆を混ぜる。
- 2 蒸し器に湯をわかし、敷き布は湯に浸し、きつく絞っておく。
- 3 蒸し器に敷き布を敷いてもち米を入れ、平らにならして中央をくぼませ、蒸気のとおりをよくする。
- 4 強火で20分ほど蒸したらボウルにあげ、打ち水をする。(1升に対して2合くらい)むらがないように、よく混ぜ合わせる。
- 5 敷き布を洗って同様に蒸す。蒸気があがって10分くらいで蒸しあげる。

参考

出典:『大和の行事食』から抜粋



こんにちは 保健師です！

庄内町保健福祉課
渋谷 麗
(第四学区担当)

～のぼそう！健康寿命！！～

お酒のおいしい季節、 お酒の飲み方大丈夫ですか？

夏はお酒を飲む機会が多い季節です。お盆休みについつい飲みすぎてしまった方はいらっしゃいませんか？

お酒は適量を守って飲めば、食欲増進、ストレス解消などの効果をもたらしますが、飲みすぎは肝臓に負担をかけるだけでなく、内臓脂肪を増やし、肥満、高血圧、高血糖、脂質異常など、さまざまな病気を引き起こすリスクが高まります。さらに、長年の大量飲酒は脳を萎縮させます。

◎「節度ある適度な飲酒」を心がけ、週に1～2回は「休肝日」を設けましょう。

「節度ある適度な飲酒」とは、1日平均純アルコールで約20g程度の飲酒です。

主な酒類の 換算目安	ビール	日本酒	ウイスキー/ブランデー	焼酎(35度)	ワイン
	中瓶1本500ml	1合180ml	ダブル60ml	1合180ml	1杯120ml
アルコール度数	5%	15%	43%	35%	12%
純アルコール量	20g	22g	20g	50g	12g

厚生労働省アルコールHPより

◎お酒の害から赤ちゃんを守りましょう。

妊娠中の女性が飲酒すると、生まれてくる赤ちゃんに低体重や顔面を中心とする奇形、脳障害などの胎児性アルコール症候群が出る危険があります。

また、授乳中に飲酒するとアルコールを含んだ母乳を飲ませることになるため、少量の飲酒でも赤ちゃんの発達に影響を及ぼす可能性があります。妊娠中や授乳中は“禁酒”しましょう。



問い合わせ先 ◆ 健康推進係(余目保健センター) ☎43-0817 ◆ 健康福祉係(立川庁舎) ☎56-3392

平成30年上半期 第四学区における犯罪 及び交通事故の発生状況

わごう 駐在所

庄内警察署
佐藤 正人
(第四学区担当)



◎犯罪発生状況

学区内で犯罪の発生はありません。ただし、犯罪にならないような家庭内トラブルや近隣トラブル等の通報は来ています。

◎人身事故発生状況

月日	場 所	事故原因	被害程度
3/31	南野新田 字西割地内	右方確認 不十分	軽 傷
4/22	沢新田 字錆地内	ブレーキ 操作不適	軽 傷
6/9	古関 字古館地内	左方確認 不十分	軽 傷

◎物損事故発生状況

庄内町全体における事故の発生件数は増加傾向であり、死亡事故が既に1件発生しています。学区内の事故も同様で昨年同時期と比較すると倍増していて、地区内の運転し慣れたところでの事故が多くなっています。慣れた道でも油断せず、安全確認をしっかり行って、安全運転をお願いします。

【地区別発生件数】

廻 館……………7件	主殿新田……………1件
南 野……………5件	古 関……………1件
吉 方……………3件	本小野方……………1件
前田野目……………2件	南野新田……………1件
返 吉……………2件	沢 新 田……………1件

和合の里

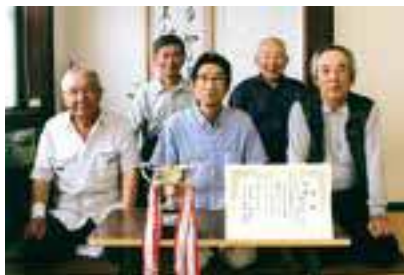
INFORMATION

第四学区
老人クラブ
連絡協議会

7/8



グラウンドゴルフ大会



7月8日に開催された第11回グラウンドゴルフ大会では、各単位クラブから60名弱が参加し、熱戦を繰り広げました。

▼大会成績(敬称略)

【団体】 1位:南野 Aチーム
2位:廻館チーム
3位:前田野目チーム

【個人】 1位:後藤 昭三(小出新田)
2位:梅木 宏輝(廻館)
3位:志田 八弥(南野)

亀ノ尾の里資料館 企画展

和合のお宝展

～奥山重右衛門

コレクションから～

旧大和村古関(現庄内町古関)の大地主、奥山重右衛門家に伝わる美術品等を公開しています。

期 間 8/10(金)～11/18(日)

開館時間 午前9時～午後9時
(※清掃日は午後5時～)

入館料 無料

ギャラリートークのお知らせ

日時 8/30(木)午後1時30分～

講師 公益財団法人本間美術館
学芸員 須藤 崇氏

※申込み、参加費不要です。
お気軽にご参加ください。

7/11



第四小学校 一人暮らしのお年寄りに 花鉢を贈る活動

7月11日、地域との交流を目的として第四小学校の5～6年生を中心に、学区内の一人暮らしのお年寄りを訪ね、環境委員会の児童たちが育てた花鉢と手紙を贈りました。児童達は一人ひとりに「大事に育てて下さい」と声をかけ、お年寄りを笑顔にさせていました。



8/1



和合の里 一斉クリーンデイ

8月1日を基準日として、各部落でクリーンデイが行われました。今年度は約800名弱の参加を得て、和合の里の美化に努めました。



編集後記



三人兄妹の末っ子に育ったからか、面倒をみるということが大変苦手です。ですが、今年は頑張って公民館裏の花壇に「ほうき草」を植えて面倒をみています。

毎朝、水をかけるたびに成長が見られて、だんだんと管理が楽しくなってきました。今年の秋にはきれいな赤色になるでしょう。よかったら見に来てください。

余目第四公民館
亀ノ尾の里資料館

9月18日(火)

床清掃のため午後5時
からの利用になります。
ご協力をお願いします。

